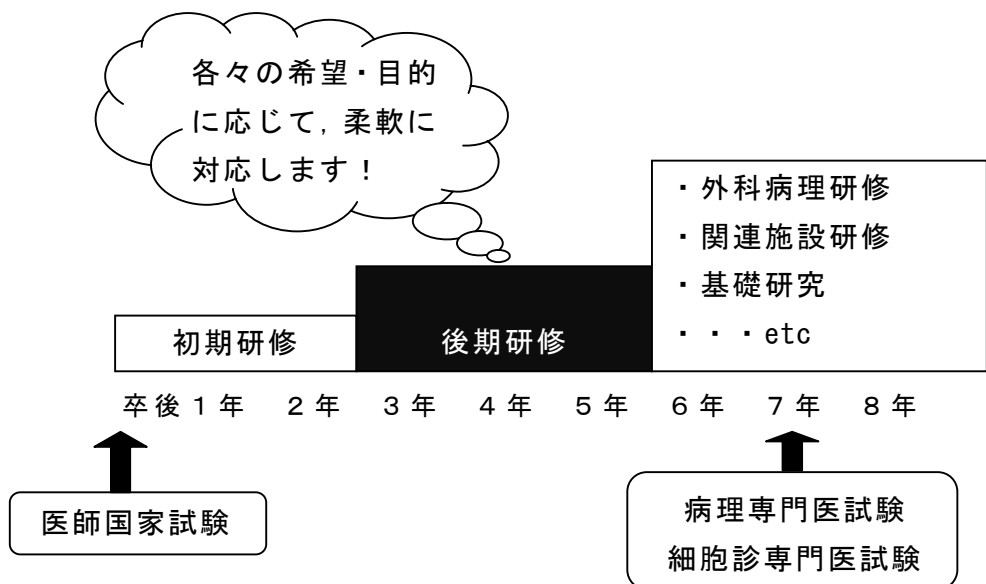


病理専門医・細胞診専門医コース（病理部）

（１）コースの全体像

病理部は、臨床各科から提出されるあらゆる病変に対して、形態学的及び分子病理学的検討を加え、（最終診断と解されることが多い）病理診断を行う部門です。本コースは、それを担う若手病理医の育成のために準備されています。その内容としては、コース全体を通じて形態学的病理・細胞診断の精通に重きを置き、その補助手段である免疫組織化学あるいは遺伝子検査などの分子生物学的手法の習熟も目指していきます。また、病理解剖も病理学講座との密な連携のうえ施行し、病態の全身・全体的な把握にも努めていきます。

本コースの第一の目的としては、病理専門医及び細胞診専門医の取得を目指すこととなりますが、希望者があれば病理学教室との連携による基礎研究の実施、臨床各科とのコラボレーションによる臨床研究の実施、あるいはサブスペシャリティーを磨くための関連施設における研修なども随時可能です。



（２）コースの概要

コース名：病理専門医・細胞診専門医コース						
大学病院・医療機関名	診療科名	専門分野名	指導者数	目的	養成（受入）人数	期間
岐阜大学医学部附属病院	病理部	病理診断・細胞診断	4	死体解剖資格の取得 病理専門医・細胞診専門医の取得を目指す	3名	3年～
				受入人数	3名	

（３）コースの実績

当病理部の年間病理検体件数は 9000 件程、細胞診件数は 6000 件程、剖検数は 40 件程を有しています。偏りのない必要且つ十分な症例での研修が可能であり、部内での勉強会（病理

症例検討会，特染免染勉強会，細胞診勉強会）も毎週定時に行っています。また，院内剖検検討会であるCPCは20回/年ほど開催しており，それ以外に臨床各科（内科・外科・泌尿器科・整形外科・放射線科・脳外科等々）との合同症例カンファレンスも定期的に行っています。このような研修環境の中，現在のところ4名が病理専門医試験を目指しています。

（４）コースの指導状況

日本病理学会認定の病理専門医研修指導医は病理部に2名，医学研究科病理学講座に2名の計4名，日本臨床細胞学会認定の細胞診専門医が病理部に1名，病理学講座に2名の計3名が在籍しており，コース全般の指導に当たっています。

（５）専門医の取得等

学会等名	日本病理学会
資格名	病理専門医
資格要件	1. 死体解剖保存法による死体解剖資格を取得していること 2. 3年以上継続して日本病理学会会員であること 3. 学会認定研修施設において5年以上の人体病理学を实践した経験を持つこと（生検・手術検体の診断5,000例以上，剖検執刀40例以上） 4. 人体病理学に関する原著論文または学会報告が3編以上あること 等
学会の連携等の概要	
学会等名	日本臨床細胞学会
資格名	細胞診専門医
資格要件	1. 本法人会員歴3年以上 2. 細胞診断学の研修5年以上 3. 細胞診断学ならびに細胞病理学に関する論文3編以上をもち，その内1編は筆頭著者であること 等
学会の連携等の概要	
関連学会専門医に関しては，本法人会員歴2年以上をもって受験資格を有する	